

～東北再生可能エネルギー利活用大賞受賞～

「秋田産電力」を支える人々② 横尾 寧則 氏



発電施設見学者配布用のクッキーを手にする横尾氏

●障害者就労支援施設●

社会福祉法人一羊会 指定障害福祉サービス事業所
夢・究塾明日葉 管理者

ユナイテッドリニューアブルエナジーのバイオマス発電「秋田産電力」の取り組みには、障害者就労支援施設も参加している。同社は発電所の施設見学を受け付けており、見学者にはクッキーやベルティなど記念品を進呈している。社会福祉法人「一羊会」の指定障害福祉サービス事業所である「夢・究塾明日葉」はクッキー製造に関する作業を受託しており、同施設を利用する障害者たちが作業に当たっている。

一羊会は90年に無認可施設からスタートし、95年に法人認可

利用者の活動の幅が広がるきっかけに

知的障害の利用者らが熱心に作業に取り組んでいる



を受けた。現在は3事業所、4グループホームを運営している。明日葉の管理者である横尾寧則氏は、「一羊会では障害者に働く場を提供し、それに伴う所得を補償することを理念に福祉事業に取り組んでいる」と話す。

最初は下請け作業などから模索し、事業所の一つ「とうふ屋丸木橋六兵衛」で06年からとうふ、惣菜の製造・販売をスタート。さらに明日葉ではシフォンケーキなどお菓子の製造・販売を始めた。「知的障害の利用者

が中心に作業を行っているが、非常に熱心に取り組んでいる。こうした事業を行うことで基礎年金と合わせて、何とか自立して生活できる額の給与を提供できるようになった」という。商品も非常に好評とのことだ。

秋田産電力の取り組みでは明日葉で、ユナイテッドリニューアブルエナジーの見学者に配布するクッキーの製造にかかわる作業を請け負うこととなった。これについては、「安定して仕事ができるということがまず大きいですが、それ以外にもこうした事業に関わることで発電事業に興味を持ち施設を見てみたいと思うなど、利用者の活動の幅が広がるきっかけにもなる」と話す。

配布するクッキーが入った袋には同福祉施設の名称も明記されている。「もらった人たちが関心を持ってくれて、それが障害者に対する偏見の目を変えられることにもつながれば」と願っている。